

## 2 「子どもたちの豊かな感性と生きる力を育むまち」

### (1) 結婚・出産・子育てが安心してできる環境を目指します



#### **出会いサポート事業** 262万円

(担当：定住戦略室)

結婚を希望される方の出会いの場や交流の機会を創出し、結婚に向けた過程をサポートします。



幸せな結婚に向けて

#### **幸せを運ぶ こうのとりに応援事業**

(特定不妊治療費助成事業) 300万円

(担当：子育て支援課)

不妊治療(体外受精・顕微授精)を受けている夫婦等の経済的負担を軽減するため、保険適用後の自己負担額について、1治療過程5万円を上限に助成し、更に先進医療を併用して治療した場合は10万円を上限に追加助成します。

財源	県の負担額	30万円
	市の負担額	270万円

#### **すこやか子育て支援金支給事業**

1,780万円

(担当：子育て支援課)

少子化対策及び子育て世代の定住促進を目的に、出生祝金と小学校入学時に入学祝金を支給します。

- 出生祝金 第1子、2子、3子 5万円
- 第4子 10万円
- 第5子以降 20万円
- 入学祝金 第3子以降 10万円

財源	市の負担額	1,780万円
	(うち市債〔借入金〕)	1,300万円)

#### **子育て応援医療費助成事業**

2億1,263万円

(担当：子育て支援課)

0歳から18歳までの適正な受診機会の確保と子育て家庭における経済的負担の軽減を図るため、入院及び通院に係る医療費のうち、保険診療分の自己負担額を全額助成します。

財源	県の負担額	3,168万円
	宝くじ助成金	1,200万円
	市の負担額	1億6,895万円
	(うち市債〔借入額〕)	1億1,850万円)

#### **母子保健健康診査事業**

3,681万円

(担当：子育て支援課)

妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう、妊婦健康診査、新生児聴覚検査等の各種健診の助成を行うほか、子どもの健やかな成長発達の確認・相談を医師、歯科医師、保健師等の専門職が行います。

財源	県の負担額	85万円
	市の負担額	3,596万円

## 2 「子どもたちの豊かな感性と生きる力を育むまち」

### (1) 結婚・出産・子育てが安心してできる環境を目指します



#### 地域子育て支援センター運営事業

8, 224万円

(担当：子育て支援課)

小学校入学前の乳幼児を対象に、保護者と乳幼児が一緒に利用するセンターです。子育ての悩みを保育士に相談したり、保護者同士のコミュニティの場所としても利用できます。市内10か所で運営します。



フラフープで遊ぶ様子

財源	国の負担額	2, 592万円
	県の負担額	2, 592万円
	市の負担額	3, 040万円

#### 幼稚園預かり保育事業

1億7, 433万円

(担当：学校教育課)

保護者の就労や出産などの理由により、幼稚園の教育時間外や土曜日においても保育が必要な園児を対象として、預かり保育を実施します。

財源	国の負担額	5, 918万円
	県の負担額	4, 430万円
	他市町・利用者の負担額	24万円
	市の負担額	7, 061万円

#### 特別保育事業（一時、延長）

2, 079万円

(担当：子育て支援課)

保護者の多様なニーズに対応するため、特別保育を実施します。

##### 一時保育

保護者の就労や病気などの理由で一時的に保育ができない場合や保育者のリフレッシュなどに、市内9か所の保育施設で一時的に子どもを預かる事業を実施します。

##### 延長保育

保護者の勤務形態の多様化に対応するため、保育施設に入所中の子どもを対象に、時間を延長して保育を実施します。

午前7時から午前7時30分まで

午後6時30分から午後7時まで

#### 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)

2億9, 266万円

(担当：子育て支援課)

就労等により昼間保護者が家にいない児童(小学生)を対象に、安心して過ごせる生活や遊びの場を提供し、児童の健全な育成を図るため、市内全域で放課後児童クラブを実施します。

財源	国・県の負担額	1億3, 854万円
	利用者の負担額	3, 609万円
	市の負担額	1億1, 803万円
	(うち市債[借入金])	120万円

財源	国の負担額	606万円
	県の負担額	606万円
	利用者の負担額	119万円
	市の負担額	748万円

## 2 「子どもたちの豊かな感性と生きる力を育むまち」

### (1) 結婚・出産・子育てが安心してできる環境を目指します



#### 学校給食費無償化事業

2億1,862万円

(担当：教育総務課)

子育て世帯における教育費の負担軽減のため、市内に住所を有する児童生徒を対象に、市立学校給食費を無償化します。また、特別支援学校に通学する児童生徒及び地理的条件などの特別な事情で市立学校に通学困難な児童生徒を対象に給食費補助金を交付します。

### (2) 次代を担うたくましい子どもを育成します



#### 学校図書館活性化推進事業

285万円

(担当：学校教育課)

学校に司書を配置し、司書が主体となり図書整備・管理及び図書館(室)の環境整備を進め、児童生徒が読書に親しみ、豊かな教養と感性を身に付け、学力向上に資することを目指します。

#### くりはら親善大使派遣事業

910万円

(担当：社会教育課)

市内に在住する中学2年生及び義務教育学校8年生20人を姉妹都市である台湾南投市へ派遣し、現地生徒との交流を通して、自主性や協調性を育み、異文化に触れ、国際感覚豊かな人材を育成します。

財源	参加者の負担額	100万円
	市の負担額	810万円

#### 幼稚園給食費無償化事業

157万円

(担当：学校教育課)

市内に居住する子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、栗原市立幼稚園に通園する全ての幼児の給食費を無償にします。

また、他市町村立幼稚園や私立幼稚園、私立認定こども園等に通園する幼児についても、給食費相当分を幼稚園等に補助することで保護者負担を無償にします。

#### 少人数学級推進事業

1億4,044万円

(担当：学校教育課、教育総務課)

自ら学び、自ら考える力や豊かな人間性を育むため、小学校及び義務教育学校前期課程での25人学級を実施します。

財源	市の負担額	1億4,044万円
	(うち市債[借入金])	5,000万円

## 2 「子どもたちの豊かな感性と生きる力を育むまち」

### (3) 人とつながり、支え合い、互いに高め合う子どもを育てる環境を

#### 目指します



#### 新 くりはら子どもの学び支援センター事業

2,061万円

(担当：学校教育課)

登校することに不安を抱えている児童生徒の意思を尊重し、居場所の確保を図るとともに、個々の状況に応じた来所支援または訪問支援により学びを保障し、社会的自立に向けた支援を行います。



来所支援で学ぶ児童生徒

財源	県の負担額	992万円
	市の負担額	1,069万円

#### 若柳小学校校舎大規模改修工事

3億2,279万円

(担当：教育総務課)

充実した学校生活を支えるためのより良い教育環境の確保を目的として、老朽化の著しい若柳小学校校舎の大規模改修工事を行います。



改修工事を予定している若柳小学校

財源	国の負担額	1億1,153万円
	市の負担額	2億1,126万円
	(うち市債【借入金】)	2億60万円

#### スクールバス運行事業 7億75万円

(担当：学校教育課)

すべての園児及び遠距離通学となる児童生徒に対する通園・通学支援と安全確保を図るため、スクールバスを運行します。



登園の様子

#### 学校給食センター改修等事業

1億2,518万円

(担当：教育総務課)

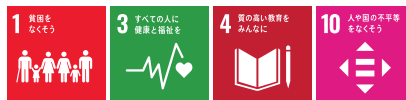
安全でおいしい学校給食を安定して提供するため、老朽化が進む南部学校給食センターの蒸気配管などの設備の改修工事や調理器具の更新を行います。

財源	市の負担額	1億2,518万円
	(うち市債【借入金】)	1億2,510万円



### 3 「健康や生活に不安がなく、優しさと思いやりに満ちたまち」

#### (1) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります



#### 新 带状疱疹ワクチン接種費用助成事業

705万円

(担当：健康推進課)

带状疱疹の発症、重症化を予防するため、発症リスクが高くなる50歳以上の市民を対象に、ワクチン接種に係る費用の一部を助成します。

##### 【助成の内容】

1回の接種あたり5千円(生ワクチンは1回限り、不活化ワクチンは2回を限度として助成)

#### 新 骨髄バンクドナー助成事業 14万円

(担当：健康推進課)

公益財団法人日本骨髄バンクに登録をして、骨髄または末梢血幹細胞の提供が決定した市民を対象に、定額を助成します。

##### 【助成の内容】

入院等に要した日数1日あたり2万円

※ 通算して7日が限度となります。

財源	県の負担額	7万円
	市の負担額	7万円

#### 新 高齢者肺炎球菌ワクチン

未接種者フォロー助成事業 93万円

(担当：健康推進課)

これまでに肺炎球菌ワクチンの接種をしたことがない66歳以上の市民に対し、ワクチン接種に係る費用の一部を助成します。

##### 【助成の内容】

接種費用の3分の2以内とし、5,800円が上限となります。

#### 新 瀬峰テニスコート改修事業

72万円

(担当：社会教育課)

老朽化した瀬峰テニスコートを人工芝に張り替え、安全かつ快適に利用できるよう整備するため、実施設計を行います。



改修する瀬峰テニスコート

財源	市の負担額	72万円
	(うち市債〔借入金〕)	60万円)

#### 健康診査事業

2億2,044万円

(担当：健康推進課)

市民の健康を守り、疾病の早期発見、早期治療を推進するため、各種健康診査やがん検診等を実施します。

財源	国の負担額	19万円
	県の負担額	412万円
	利用者等の負担額	4,742万円
	市の負担額	1億6,871万円

### 3 「健康や生活に不安がなく、優しさと思いやりに満ちたまち」

#### (1) 誰もが健康で安心して暮らせる環境をつくります



##### 障害者地域生活支援事業

1億2,661万円

(担当：社会福祉課)

##### 訪問入浴サービス事業

自宅での入浴が困難な身体障害者（児）の方に、訪問による入浴等の支援を行います。

##### 相談支援事業

障害者の方やその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供を行います。

##### 自動車運転免許取得費・改造費助成事業

障害者の方の社会参加を推進するため、自動車免許の取得費や自動車の改造費を助成します。

##### 移動支援事業

屋外での移動が困難な障害者（児）の方に、外出する際の支援を行います。

##### 成年後見制度利用支援事業

判断能力が十分でない障害者の方が、安心して日常生活を送ることができるよう、適切な援護者を選び、本人を保護するための支援を行います。

##### コミュニケーション支援事業

言語による意思の疎通を図ることに支障がある障害者の方に、手話通訳者や要約筆記者を派遣するなどの支援を行います。

##### 日中一時支援事業

障害者（児）の方に日中の活動の場を提供するとともに、家族の就労支援、介護の負担軽減を図るため、一時的な見守りの支援を行います。

##### 日常生活用具給付事業

障害者（児）の方の日常生活を支援するために、杖などの日常生活用具を給付します。

##### 社会復帰施設運営事業

在宅の障害者の方の社会復帰を促進するため、作業指導や生活訓練等の支援を行います。

財源 国の負担額 2,530万円 県の負担額 1,265万円 市の負担額 8,866万円

#### (2) 高齢者が生きがいを持ち、互いに支え合うまちを目指します



##### 介護人材確保・定着事業 220万円

(担当：介護福祉課)

初任者研修受講料 限度額10万円/件  
実務者研修受講料 限度額20万円/件

介護人材確保、介護職員の資質向上と介護サービスの安定供給に資することを目的に、市内の介護サービス事業所に従事している方が受講する介護職員初任者研修、または実務者研修の受講料を助成します。

#### (3) 市民が安心して暮らせるための地域医療を守ります



##### 医学生・看護学生修学資金等貸付事業

1,740万円

(担当：医療管理課)

栗原市立病院及び診療所に勤務する医師、看護師を確保するために、将来、栗原市立病院又は診療所に勤務しようとする医学生、看護学生に対し、修学に必要な資金の貸し付けを行います。

- 医学生修学一時金（入学時一括貸付） 760万円
- 医学生修学資金（最長6年間） 月10万円 ※入学月及び卒業月は20万円増額
- 看護学生修学資金 月5万円（最長4年間）